

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

秋葉区自治協議会(秋葉区ひな・お宝めぐり部会)

区分	内容
テーマ・事業名	秋葉区ひな・お宝めぐり 【事業費予算 800 千円】
事業目的・概要	<p><b>【事業目的】</b> 昨年度まで小須戸コミ協と中央コミ協が協力して実施した「雛町屋めぐり、新津お宝めぐり」を秋葉区全域に広げることで、各コミ協、商店街の活性化を図るとともに、区内はもとより区外からの人の流れを生みだす。秋葉区の新春行事として育てたい。</p> <p><b>【概要】</b> 小須戸コミ協と中央コミ協だけではなく、区全体が関わることができる祭りとなるよう、区民誰も気軽に参加できるような取り組みを検討する。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>8月 自治協議会において、秋葉区全域で行うことを決議</p> <p>9月 1号委員全員と希望委員、計16名による横断的な特別部会として「秋葉区ひな・お宝めぐり」部会を立ち上げ以降、8回部会を開催</p> <p>10月 秋葉区全11コミ協が共催として係ること、多くの区民が気軽に参加できるように「つるし飾り」の制作協力を呼び掛けることを決定</p> <p>11月 「つるし飾り」制作説明会・講習会を、各コミ協、地域の茶の間等、 ～12月 地域主催で開催</p> <p>1月 区内150の団体から約350個の「つるし飾り」が集まる 会期を2月1日から3月6日までとしたチラシ・ポスターを作成後、「まん延防止等重点措置」により、2月に行う予定だった広報物の自治会・町内会回覧を延期</p> <p>2月 「まん延防止等重点措置」の期間延長に伴い、当事業の会期延長を決定</p> <p>3月 3月7日から全会場で展示 当初のポスターに会期延長のシールを貼るとともに、新たに会期延長用のチラシを作成し、当初のチラシと一緒に回覧</p>

	<p>■つるし飾りの展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新津地域交流センター 50 団体 75 基</li> <li>・荻川コミュニティセンター 10 団体 20 基</li> <li>・新関コミュニティセンター 9 団体 30 基</li> <li>・小合地区コミュニティセンター 4 団体 15 基</li> <li>・金津地区コミュニティセンター 14 団体 19 基</li> <li>・小須戸まちづくりセンター 62 団体 155 基</li> <li>・その他(阿賀浦コミュニティ協議会、新潟薬科大学)</li> </ul> <p>■ひな人形・お宝等の展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小須戸温泉健康センター 花の湯館</li> <li>・秋葉区文化会館</li> <li>・新津美術館</li> <li>・秋葉区役所</li> <li>・荻川コミュニティセンター</li> <li>・新関コミュニティセンター</li> <li>・新光商店街、0番線商店街、堀出神社</li> <li>・小須戸本町通り商店街</li> </ul>
<p>事業の評価</p> <p>地域課題の区自治協議会提案事業 事業評価抽出方法 や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全11コミ協が共催となることで区全域に事業が広がった。</li> <li>●新潟薬科大学での取り組みも含め、多くの人が同じ目的に向かったことで、地域の絆をより強くし、地域活性化に大きく貢献した。</li> <li>●秋葉区ひな・お宝めぐり部会の積極的な部会活動で、部会員同士のチームワークや、部会員と事務局との連携向上が図られ、楽しく活動ができた。</li> <li>●コロナ禍で外出ができない中、「つるし飾り」の制作は、やりがいの創出、指の運動、認知症予防にも効果があると地域の茶の間等でも喜ばれた。</li> <li>●「まん延防止等重点措置」で、当初の開催期間ほとんどの会場が閉館だったが、会期を延長し、報道にも数多く取り上げられたこともあり、多くの人たちが各会場に訪れ、感動していただけた。</li> <li>●秋葉区全域の事業として特色あるまちづくりと交流人口拡大に期待できる。</li> <li>●手間や時間がかかることに地域住民が係ることこそ、地域づくりの醍醐味であると実感できた。</li> </ul> <p>【課題・今後への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「お宝めぐり」「商店街の活性化」までには至らなかったことや、秋葉区以外の各地でも様々な雑祭を開催していることもあるので、今後、地域の行事を「お宝」として同時開催するなど、秋葉区らしい特色ある「ひな・お宝めぐり」の内容を検討していく必要がある。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>●今回は、コロナ禍で自粛しすぎた感があるので、次回は、その場で参加できる企画や、車以外では行きづらい会場へのツアー企画など、集客のために検討していきたい。</li><li>●9月からのスタートで時間が足りなかったので、「つるし飾り」資材の検討や、新たな企画の検討のためにも、早目に取り掛かりたい。</li><li>●PDCA サイクルを回し、より良い事業とするため、次年度は来場者のアンケートを取り、客観的に貢献度を把握し反映していきたい。</li></ul>
--	--